

報道関係各位

2010年6月22日

“アルミによる廃校の再利用”  
『SUSアルミ共生建築 Competition'10』を開催  
～実施を前提に建築提案を一般公募～



写真: 旧・市立東山小学校

アルミ製住宅・家具、建築構造材の製造販売を手掛けるSUS株式会社(静岡県静岡市、代表取締役社長:石田保夫、[www.sus.co.jp](http://www.sus.co.jp))はこのほど、廃校の活用をテーマとした建築空間デザインコンペティション『SUSアルミ共生建築Competition'10』を開催いたします。

アルミニウムは、軽量で強度が強く、耐食性や加工性に優れ、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に適しているなど優れた特性を持つ素材です。『SUSアルミ共生建築Competition』は、既存の建築物とアルミ構造材を上手く組み合わせることで「相利共生※」の関係となる、これからの建築の姿を考えるコンペティションです。

※相利共生…異種の生物が行動的・生理的な結びつきをもち、1か所に生活し、相互に利益のある状態。ヤドカリとイソギンチャク、アリとアブラムシなど共生の一種。

今回実施する『SUSアルミ共生建築Competition'10』のテーマは、“アルミによる廃校の再利用”。少子高齢化や地方の過疎化などが原因で増え続けている廃校を、アルミという新しい素材を用いてよみがえらせ、活用していくプランを募集します。モデルとなる校舎は、2005年に廃校となった福島県須賀川市の旧・市立東山小学校で、現在は当社が市より借り受け、研修施設として利用しています。提案にあたっては、実施を前提に、学校の一部をアルミを用いて増改築し、新しい機能を付加することで、研修施設としてより充実させるとともに、地域住民の交流の場としても活用できる施設として下さい。募集期間は7月1日(木)～9月30日(木)までで、国内在住の方であればどなたでも応募できます。詳しい概要、図面、応募方法などは特設サイト<http://ecom.sus.co.jp/saa2010/>に掲載しています。

■最優秀賞は実施を前提—市長も審査委員として参加—

応募いただいた提案は、安田幸一氏(建築家・東京工業大学教授/審査委員長)、橋本克也氏(須賀川市長)、飯嶋俊比古氏(構造家・飯島建築事務所代表)、石田保夫(弊社代表取締役社長)の4名の審査委員により審査され、最優秀賞(1点、賞金100万円)、優秀賞(2点、賞金30万円)、佳作(3点、賞金10万円)が選定されます。諸条件が整う場合には最優秀賞を基本計画として実際に建設します。

# 「SUSアルミ共生建築Competition' 10」実施概要

名 称: SUSアルミ共生建築Competition' 10

募集テーマ: **アルミによる廃校の再利用**

近年、地方の過疎化、市街地の空洞化による人口の偏在に少子化が加わり就学者が減少し、山間地域、都心部での休校、廃校が増えています。1992年度からの16年間に廃校となった公立の小、中、高等学校は、全国で4,568校に上ります。一方、廃校となった学校施設のうち、推定で約6割が転用、再利用されています。その原因として、校舎が空間的にさまざまな機能に適応しやすいということが挙げられますが、それ以上に、誰もが持つ「学び舎」への思いが建築物の存続へのもとなつているように思われます。

今回の対象は、福島県須賀川市の山間部にある旧・市立東山小学校の校舎です。現在、SUSが市から借り受け、自社の研修施設として活用していますが、一部が老朽化し十分に機能せず、増改築する予定です。将来における宿泊も可能な施設利用も考慮に入れ、研修施設としてのサポート機能を、周辺の自然環境と融和した快適な空間として、アルミの特性を活かしデザインしてください。さらに、ここで学び育った卒業生の思い出ある校舎が、地域住民の交流の場として地域活性化のシンボルとなるような魅力のある提案を募集します。

なお、諸条件が整う場合、最優秀賞は基本計画として実施することを考えています。

応募資格: 日本国内在住の方であれば資格は問いません。グループでの応募の場合は、代表者が日本国内在住の方であることとします。

応募期間: 2010年7月1日(木)～9月30日(木) ※17時必着

- 提案条件:
1. 提案していただく建築物は、主要構造にアルミを用いた平屋建ての増築部分と、旧校舎 1 階の一部を改築した部分とで構成されます。改築可能な範囲は、玄関より東側で、現状、玄関、ホール、校長室、職員室、宿直室からなる部分です(階段は除く)。また、増築部分と改築部分は何らかの形で連続するように計画してください。
  2. 社員30名が宿泊可能な研修施設(将来計画)に対応する食堂、厨房、浴室、トイレ(浴室、トイレは男女別)、エントランスを有する建築物を提案してください。また、これらの諸施設が地域住民の交流の場としても機能するような空間的仕掛けも提案してください。
  3. 徒歩、自動車にかかわらず、アプローチは従来どおり旧校舎の東側の道路とします。そのため、校庭の一部に駐車場を含む前庭を計画してください。
- ※ 対象となる旧・東山小学校の見学は、管理の問題、地域住民への配慮からご遠慮いただきます。ただし、別途、見学会を開催します。

応募方法: 下記のWEBサイトにある敷地、建物の現状図を参考にして、一般図、透視図などを中心に計画、設計意図を表現して下さい(模型は受け付けません)。それらを A2サイズの内紙2枚以内、片面横使いにまとめ、WEB サイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ提出して下さい(応募用紙は作品に貼らずに同封してください)。

<http://ecoms.sus.co.jp/saa2010/>

審査委員: 安田幸一 (建築家・東京工業大学教授／審査委員長)  
橋本克也 (須賀川市長)  
飯嶋俊比古 (構造家・飯島建築事務所代表)  
石田保夫 (SUS株式会社代表取締役社長)

審査方法: 書類選考(10月中旬予定)

賞 典： 最優秀賞(1点)・賞金100万円  
優秀賞(2点)・賞金30万円  
佳作(3点)・賞金10万円

結果発表： 審査結果は、受賞者に速やかに通知するほか、11月19日(予定)に上記WEBサイトにて発表します。

応募先： 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1-7スクエア日本橋3F  
SUS株式会社 広報チーム

問合せ： 8月31日(火)まで下記eメールでのみ受け付けます。回答はWEBサイトに速やかに掲載します。  
[saa2010@sus.co.jp](mailto:saa2010@sus.co.jp)

主 催： SUS株式会社

協 力： 須賀川市

応募案の取り扱い：

1. 応募作品は国内外未発表のものに限ります。同一作品の他設計競技との二重応募は認められません。また、応募作品は返却しませんので、必要な場合はあらかじめ複製しておいて下さい。
2. 提出後の作品内容の変更は受け付けません。
3. 応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、応募者は応募作品に関する著作権者人格権を行使しないこととします。応募作品は適宜、弊社 PR 誌や展覧会などで公開することがあります。
4. 著作権の実施に対する交渉権は主催者が専有します。
5. 実施の場合には、最優秀作品を基本計画とし、応募者と協議の上、主催者が主導となり推進します。それに伴う応募者の作業、その経費に関しては別途協議することとします。
6. ただし、応募作品について後日著作権侵害やその他の疑義が発覚した場合はすべて応募者の責任になります。そのような場合は主催者の判断にて入賞を取り消すことがあります。

**7月31日(土)に現地見学会を開催**—参加者同時募集— **参加募集締め切り:7月21日(木)**

作品の募集期間中に、旧・東山小学校、SUS のアルミ施設等の見学会を以下の通り開催いたします。

詳しい概要、申込方法等は、特設サイト(<http://ecom.sus.co.jp/saa2010/>)をご覧ください。

■旧・東山小学校見学会(無料) ※福島エコスパビリオン(設計:山本理顕)、SUS福島工場社員寮(設計:伊東豊雄)等の見学会含む

日時： 7月31日(土) 12:30~18:00

随行者： 安田幸一氏、飯嶋俊比古氏

スケジュール： 12:30 郡山駅集合—バスにて旧・東山小学校へ

13:30—14:30 旧・東山小学校見学会

15:00—17:00 SUS 福島事業所 紹介

工場施設、福島エコムスパビリオン(設計:山本理顕)、SUS 福島

工場社員寮(設計:伊東豊雄)の見学会含む

18:00

郡山駅着—解散

